

《履修上の留意事項》成人期から高齢期に関する心理的支援について、実際のアセスメント法、介入法の基礎を学ぶ講義科目である。大学院に進学して公認心理師を志望する学生を対象とする。本学大学院においてはこの科目を履修していることを前提として講義科目が組まれる予定である。

《担当者名》○ 百々 尚美 (ndodo@hoku-iryu-u.ac.jp) 関口 真有 (sekiguchi@hoku-iryu-u.ac.jp)

【概要】

主として成人期の生活習慣病などの患者支援および、高齢者に関する臨床心理学的アセスメント・心理療法について、その概要を学ぶ。

【学修目標】

主として高齢者を評価する心理検査の概要を学び、学生同士で評価を体験する。
 主として高齢者を対象とした心理療法の概要を学び、視聴覚教材および学生同士の実習を通して、体験する。
 周産期のメンタルヘルスの概観を学び、周産期領域における心理的アセスメントや心理的支援について演習を通して学ぶ。
 生活習慣病患者を対象とした心理的支援の概観を学び、身体疾患領域における心理的アセスメントや心理的支援について演習を通して学ぶ。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 }	失語症の評価	WAB失語症を実施し失語症の検査について学ぶ。	百々 尚美
2			
3	高齢者のこころの病気	高齢者のこころの病気について理解し、必要な検査について学ぶ。	百々 尚美
4 }	高齢者の記憶検査	標準性対連合学習検査の概要を学び、相互に実習・評価を行う。	百々 尚美
5			
6 }	ゲシュタルト療法について学ぶ。	ベントン視覚記名検査とベンダー・ゲシュタルト・テストの概要を学び、実習・評価を行う。	百々 尚美
7			
8 }	周産期のメンタルヘルスケア	周産期領域におけるメンタルヘルスの問題やアセスメント、心理的支援の方法について学ぶ。また、概観を学んだ上で、学生同士で課題点などについてグループワークを行い、理解を深める。	関口 真有
9			
10 }	周産期のメンタルヘルスケア	周産期領域におけるメンタルヘルスケアについて学び、架空事例を用いながら、学生同士で心理的支援の必要性や支援の実際について理解を深める。	関口 真有
11			
12 }	身体疾患領域での心理的ケア	身体疾患（糖尿病）領域におけるメンタルヘルスの問題やアセスメント、心理的支援について学ぶ。また、概観を学んだ上で、学生同士で課題点などについてグループワークを行い、理解を深める。	関口 真有
13			
14 }	身体疾患領域での心理的ケア	身体疾患（糖尿病）領域におけるメンタルヘルスの問題や心理的支援について学び、架空事例を用いながら、学生同士で心理的支援の必要性や支援の実際について理解を深める。	関口 真有
15			

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用
 授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

講義内における小テスト、実習、およびレポートで評価する。

【教科書】

神経心理学的アセスメント・ハンドブック [第2版] 金剛出版 2019年
高次脳機能検査の解釈過程 協同医書出版社 2004年
高次脳機能障害のリハビリテーション [第3版] 医学書院 2016年

【参考書】

保健師にもできる 妊産婦のメンタルヘルスケア 大修館書店 2019年
妊産婦メンタルヘルスマニュアル 産後ケアへの切れ目のない支援に向けて 中外医学社 2021年
これからはじめる周産期メンタルヘルス：産後うつかな?と思ったら 南山堂 2017年
事例に学ぶ糖尿病患者への心理的アプローチ 日本評論社 2010年
医療スタッフのための 動機づけ面接法 逆引きMI学習帳 医歯薬出版 2016年
からだの病気のこころのケア：チーム医療に活かす心理職の専門性 北大路書房 2016年

【備考】

授業資料の配布はGoogle Classroomを利用して学習課題を呈示する。
授業内で行うGoogle Formを用いた小テストなどを行って出席を確認する。
欠席回数については各自で責任を持って管理すること(欠席回数についての問い合わせには原則応じない)。

【学修の準備】

心理検査のマニュアルは予習は必須であり、熟読して実習に臨むこと(80分)。
シラバスを参考に、周産期領域および生活習慣病領域に関して事前にインターネットや参考書籍などで各領域における課題点について各自で調べ考えておくこと(80分)
復習として講義内容を見直し、関連書籍を図書館で借りて、理解を深めておくこと(80分)。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3. 社会の様々な分野において、心の問題を評価し、それを適切に判断し援助できる基礎的技能を修得している。
DP1. 心の問題にかかわる職業人として必要な幅広い教養と専門的知識を修得している。
上記、心理科学部ディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

百々 尚美(公認心理師) 関口 真有(公認心理師)

【実務経験を活かした教育内容】

公認心理師としての臨床・研究・社会的貢献の成果を反映させた講義内容となっている。
実務における注意点、失敗例等を教示する。